

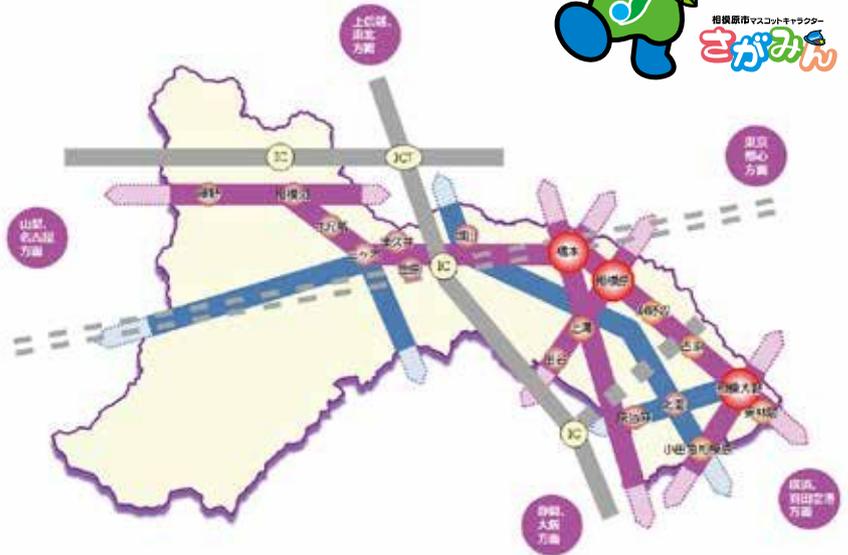
相模原市公共交通整備促進協議会は相模原市、市議会、自治会連合会、市内各種団体により構成され、昭和44年の設立以来、相模原市域の鉄道、バス交通等、公共交通の整備促進などを目的に鉄道、バス及びタクシー事業者への要望活動や、公共交通の利用促進に向けた啓発活動等を行っています。

総合都市交通計画を策定しました



相模原市では、今後見込まれる人口減少や超高齢社会の到来、IoT技術の進展のほか、リニア中央新幹線の市内駅設置など、本市を取り巻く社会情勢が大きく変化してきていることから、鉄道や路線バスなどの公共交通中心の持続可能な交通体系の確立を目指すため、平成24年3月に策定した「相模原市総合都市交通計画」及び「相模原市バス交通基本計画」を一本化し、新たな「相模原市総合都市交通計画」を策定しました。

計画を策定することにより、本市の公共交通に対して、国の補助制度の活用や市と交通事業者の連携強化が図られます。



相模原市内の交通軸

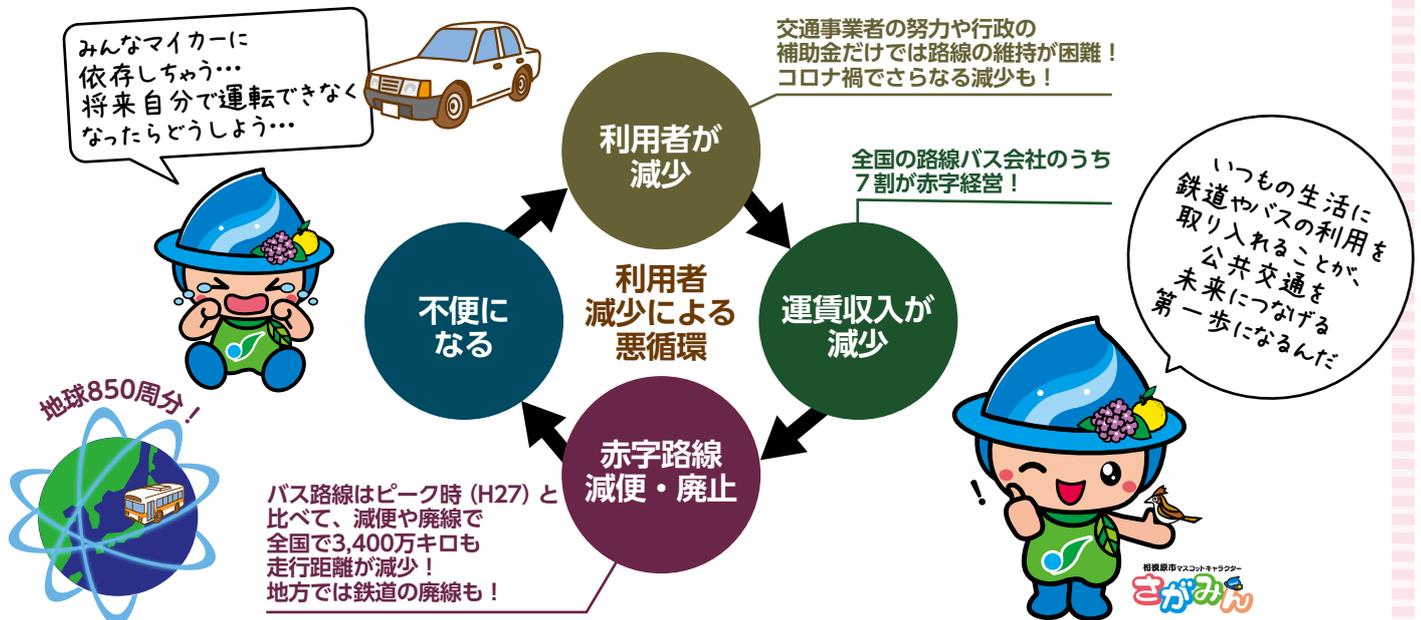


詳しくはこちら▶



みんなで使おう公共交通！ ～バスや電車を未来に残そう～

- 公共交通の利用者が減ると、運賃収入が減少し、路線の減便や廃止をせざるを得なくなり、その結果、利便性が低下して、さらに利用者が減少するという悪循環になります。
- 5年後、10年後の将来に公共交通を残していくために、日常生活に公共交通を取り入れる工夫が必要です。



JR横浜線橋本駅(1・3番線ホーム)にホームドアが設置されました!

令和3年6月、JR横浜線の橋本駅(1・3番線ホーム)にホームドアが設置されました。JR横浜線淵野辺駅に続き、市内で2駅目となります。

ホームドアは、ホームからの転落やホーム上での列車との接触事故を未然に防止することを目的に、各鉄道事業者において整備が進められており、利用者の安全・安定輸送の確保を図っています。



▲JR横浜線橋本駅に設置されたホームドア



新型車両E131系デビュー

～バリアフリー化・車内の快適性が向上～

JR相模線は約30年ぶりに新型車両が投入され、令和3年11月18日より運行を開始しました!

車体の前面デザインは、遠くまで広がる湘南の海とダイナミックな波の水しぶきを水玉で表現され、前面と側面のカラーリングには、遠くまで広がる湘南の海をイメージした濃淡2色の青色が配されています。

座席の幅は、これまでの車両に比べて広がっており、各車両に車いす・ベビーカー向けのフリースペースが設けられ、優先席とともに分かりやすい配色となるなど、利用しやすく、優しい車両となっています。

この機会に是非、相模線を利用してみてはいかがでしょうか。



新型車両E131系

公共交通の運行継続を支援!

～公共交通支援金の交付～

新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の利用者は大きく減少しており、交通事業者は厳しい経営状況の中においても、市民の皆様の日常生活を維持するため、感染対策を行いながら事業の継続に取り組んでいます。

相模原市では、こうした取り組みを支援するため、国の地方創生臨時交付金を活用して、市内を運行する交通事業者(路線バスとタクシー)へ公共交通支援金を交付しています。

- ◆令和2年度は、107の事業者へ支援を行いました。
- ◆令和3年度は、現在申請のあった事業者へ支援金を交付しています。



要望活動を実施しました!

相模原市公共交通整備促進協議会では、公共交通の利便性の向上に向けて、令和4年3月に各交通事業者へ要望活動を行いました!

《主な要望内容》

- | | |
|--|--|
| ・東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社
横浜線の快速電車の増発、相模線の待合環境の整備・充実 等 | ・京王電鉄株式会社
速達性の向上、ラッシュ時の駅員の増員 等 |
| ・東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社
相模湖・藤野駅への特急停車、藤野駅ホームの屋根の増設 等 | ・神奈川中央交通株式会社
輸送計画の改善、乗継ぎの円滑化 等 |
| ・小田急電鉄株式会社
多摩線の市内延伸、小田急相模原・東林間駅への急行停車 等 | ・県タクシー協会相模支部相模原地区会
利用者サービスの向上、脱炭素化の促進 等 |

都市交通の充実のために寄附であなたも市政に参加してみませんか!

相模原市では、都市交通施設の整備にかかる費用の一部にするため、都市交通施設整備基金への積立を行っており、市民の皆様や企業などからの寄附を受け付けております。詳しくは事務局までお問い合わせください。

